

部活動の地域移行（令和 6 年度の取組み）

目的

- ・ 学校部活動の休日の活動を地域に移行した際の課題の洗い出し
- ・ 生徒・保護者・学校・顧問教員が感じた生の声のヒアリング

内容

- ・ モデル校の運動部活動3部を対象に休日の部活動に講師を派遣
中央中学校・・・バスケットボール(大学と連携) 愛宕中学校・・・バレーボール(プロ団体と連携)
光陽中学校・・・陸上競技(陸上連盟と連携)
- ・ 実証事業の条件として参加者からの参加料の徴収が必須のため、部活動費等から参加料(月額1000円×4ヶ月＝4,000円)を支出
- ・ モデル校になったために負担が生じないように, 参加料相当額の消耗品（ボールやラインテープなど）を市から提供(学校(部or生徒)の実質負担ゼロ)
- ・ 指導者への謝礼は1回の指導あたり1600円/h×3hで支給
- ・ 生徒、保護者、学校、顧問教員、指導者等の関係者にアンケートを実施

スケジュール

R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
● 事業検討	● 事業確定												
		学校との事前調整											
			学校との調整・指導団体の調整										
							実証事業						
												成果検証	

当初、9月からの開始を予定していたが、対象競技の選定等に時間を要し、11月からの開始となった。